



まだかが

荻田町青少年育成町民会議だより



梅雨空に 負けずに 歩け歩け

第7回
ふれあい
ウォークラリー



六月九日、役場をスタート・ゴールとする第七回ふれあいウォークラリーが開かれました。あいにくの梅雨空でしたが、約九十組・四百人が午前九時半から次々にスタート。コースの途中でゲームなどを楽しみながら私たちの町を再発見しました。

ウォークラリー アンケートより

○問題はけっこうむずかしかったです。ゴールをして点をつけるとけっこうあった。景品をもらってうれしかったです。

○毎年、いろんな町の問題で、ぼくたちの町のことを、ぼくは全然知らなかったことが分かりました。おもしろいウォークラリーに今度また出たいと思っています。

○最初は地図の見方がわからず迷ってしまい、4 kmコースの方にすればよかったなと思いました。三時間半ぐらいいかかってやっとゴールにたどりつくことができました。でも、楽しい一日を過ごせてよい思い出になりました。来年もまたウォークラリー大会に参加しようと思います。

八年目を迎えた

町民育成会議の活動

五月三十一日、中央公民館研修室で、荏田町青少年育成町民会議第八回総会が開催されました。

町民会議が結成されて七年がたちました。その間、五つの部会では、それぞれの立場から青少年のすこやかな成長を願って活動を続けてきました。そこで、本年度の活動方針と重点目標についてご紹介いたします。

活動方針

明日を担う青少年が、明るく元気で心豊かに育ってほしい。これはみんなの願いです。しかしながら青少年の非行は依然増加傾向を続け、「いじめ」による自殺はあとを絶ちません。また、ツーショットダイヤル営業等環境浄化の問題も当面する大きな課題であります。最近高校生の薬物乱用が発覚するなど青少年非行の現況は、まことに憂慮すべきものがあります。このような現況を考えると、今こそ町民会議が果たす役割は大きいと思います。

青少年非行や問題行動は、それを取り巻く社会環境や社会風潮および家庭のあり方などを含めた幅広い要因をはじめ、青少年育成活動の不十分さにもあることを重視しなければなりません。

当町民会議ではこうした現状を考慮し、過去における事業の

成果と反省にたつて平成八年度の事業を計画しました。新規事業や改善事業に必要な経費については特段のご理解をいただき要望を認めていただきました。事業の推進に当たっては青少年育成の任にある関係機関・団体の連携協力体制をいっそう密にして精力的に推進し、所期の目的の達成をめざします。

重点目標

- ・「いじめ防止協議会」の設置と「いじめ・体罰をなくす草の根運動」の展開
- ・青少年が豊かにたくましく育つ、町民あげての環境づくり
- ・組織内各機関・団体のそれぞれの青少年健全育成活動の充実
- ・広報啓発活動の強化
- ・家庭、学校、地域社会の連携



▲夜間補導の様子

平成8年度町民育成会議年間事業予定

【7月】

- ・健全育成講演会
- ・夏休み前期特別補導
- ・健全育成ポスター募集
- ・有害図画等に対するストップキャンペーン

【8月】

- ・シンナー等薬物乱用防止研修会
- ・夏休み補導活動
- ・盆踊り大会補導

【9月】

- ・いじめストップキャンペーン

【11月】

- ・ふれあいコンサート
- ・家庭部会シンポジウム

【12月】

- ・健全育成カレンダー
- ・年末特別補導

【1月】

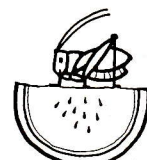
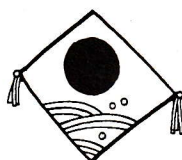
- ・いじめをなくす県民のつどい
- ・第7回風作り教室

【2月】

- ・ふれあいマラソン大会後援
- ・PTA共催教育講演会

【3月】

- ・第7回風揚げカーニバル
- ・春休み特別補導



インタビュー

③



今回は向山少年陸上クラブ監督の大矢靖彦さんにお話を伺いました。

①クラブ発足の動機は

十年程前から自分自身の健康管理のため、仕事が終わってから週に何度か走っていました。最近の子どもにはハッラツさもなく、子どもなりにストレスもたまるようです。そこで、人前でも活発に話のできる元気な

子どもになって欲しいと思い、六年程前から小人数でクラブを発足させました。

今では小学一年生から六年生までの二十人くらいで走っています。

②練習内容は

毎週金曜日の六時半から向山公園で一時間半程走り、その中で基礎体力づくりやマナーなどを指導。町民ふれあいマラソンや椎田町ロードレース等に参加するため練習しています。

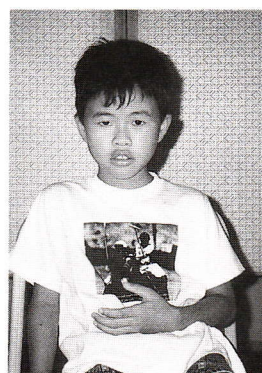
③チームの特徴などは

お互い助け合いながら上級生は下級生の面倒をみられるように、また公園などを利用するマナーを指導し、走った後は一人ひとりに話しかけ、特に元気がない子どもをみかけたら元気づけたりするなどコミュニケーションをはかっています。年一回夏休みを利用し、子ども達と話し合いキャンプなども行っています。

向山少年陸上クラブ

キャプテン

中川 達(向山小六年)



ぼくがこのクラブに入ったのは二年生の時です。友達が先に入っていたのでぼくも入ることにしました。

最初は、荻田小学校のグラウンドで練習していましたが、今は向山のグラウンドで毎週金曜日の夕方から走っています。

二月のふれあいマラソン、三月の椎田ロードレース。小学生から大人の人も走る中でぼくたちは力いっぱい走ります。走っている最中はきついけれど、走り終わった後はうれしきでいっぱいです。この気持ちは走った者にしかわかりません。ぼくは「やるんだノ」のかけ声どおり、これからもがんばっていききたいと思っています。

父母の方の声

わが子が向山少年陸上クラブに入って数年がたち、最年長の六年生になりました。

始めた頃は、四、五人しかいなかった部員たちも今では二十人までに増え、最初はグラウンド一周するの息をきらし、とてもつらそうでしたが、今では五、六周走ってもまだ頑張れそうです。

一年生から六年生まで、縦横のつながりができ、一般の方が走っているときにも自分たちから「こんばんわ」とあいさつができるようになりました。

監督の口癖であるマナーを大事にするということを守って、これからも一人ひとりで頑張っていると思います。

■同クラブの連絡先 向山少年陸上クラブ 監督・大矢靖彦(☎434-5612)

このコーナーで紹介する青少年育成団体や地域活動を行っています。ご感想があればどしどしご応募ください。

こどもの国

みんなニコニコ こどものつどい

カメラスケッチ

5月19日、かんだ港まつりの中で「こどものつどい」が行われました。

正午から駅前商店街では恒例の大綱引き大会。小中学生約600人が松山軍と山伏軍に分かれ、200メートルの大綱を引き合いました。両軍とも1回ずつ勝ち、引き分けに終わりました。

港まつりのメイン会場の幸町地先ではこどもの国を開催。クイズ王選手権やふれあい動物園、消防車試乗などいろいろな催しものがあり、たくさんの家族づれで賑わいました。

▶小学生クイズ王選手権
優勝チームと準優勝チーム



▲ふれあい動物園



▶消防車体験試乗



▶ミニSL



▶ミニ四駆コーナー



▶山伏軍安全祈願の様子



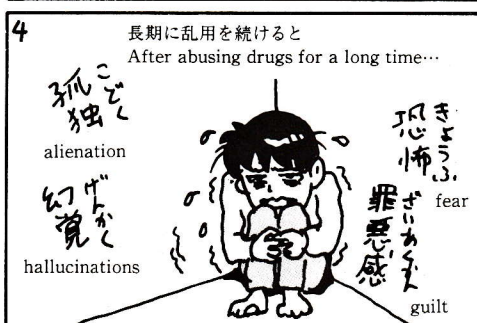
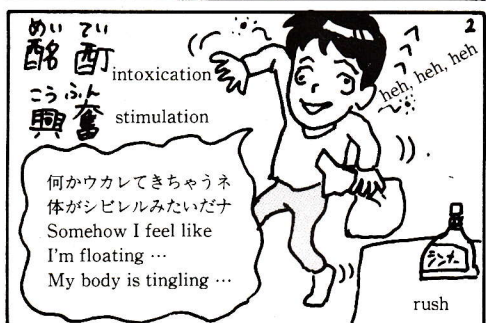
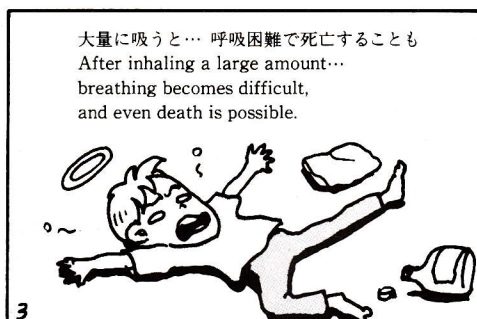
▶松山軍安全祈願の様子



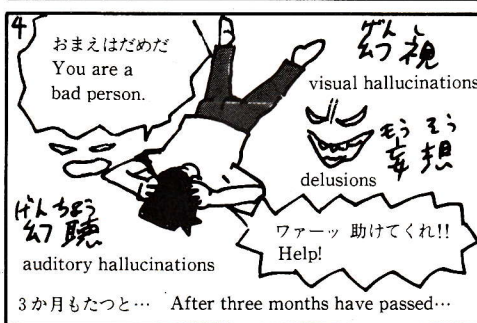
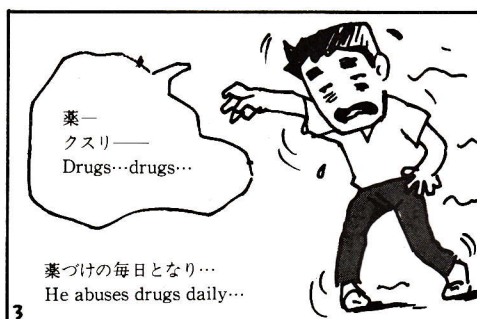
大綱引き大会

薬物乱用による心身への影響

■シンナー



■覚せい剤



ダメ。ゼツタイ。

シンナーにうちかて
あなたの良い心

Q & A コーナー

Q シンナーくらいよいのではないのでしょうか。

A それは間違いです。

シンナーは乱用すると成長抑制、脳障害等、身体に障害を引き起こします。また、シンナー乱用者は覚せい剤に手を出す確率も高いのです。

Q 私たちに関係ないのではないのでしょうか。

A 大いにあります。

覚せい剤は人の弱味につけこんできます。

「この薬を打つと」

- ・ 1週間で5kg減も夢でない。
- ・ 眠気スッパリ頭ハッキリ。
- ・ つかれ知らずでいつも元気。
- ・ 精力倍増。

など魅力的な言葉には十分注意しましょう。

7月「青少年を非行からまもる全国強調月間」です

次代を担う青少年を健全育成することは全国民の課題です。少年非行は昭和58年をピークに、依然として高水準で推移しており、万引き等の初発型非行や中・高校生による非行の多発、無職少年による凶悪、粗暴な事件の発生、暴走族による暴走行為の頻発、シンナー等乱用少年や少年の福祉を害する成人犯罪による被害少年の増加、青少年を取り巻く社会環境の悪化など憂慮すべき状況にあります。

このため、7月を「青少年を非行からまもる全国強調月間」に定め、関係機関、関係団体、地域住民などが青少年の非行に対する共通の理解と認識を深め、非行防止のための諸施策および活動を有機的な連携のもとに集中的に実施し、非行防止の徹底を図っています。

青少年教育相談 Q & A



荻田町の教育相談についてお知らせください。
また、教育相談はどのようにされているのでしょうか。



①平成七年度の相談の実態のあらましを紹介します。
・相談件数 実数で五十二件
(延数六十二件)

青少年健全育成講演会のご案内

- 日時 7月20日(祝)
午後1時30分受付 午後2時開会
- 場所 三原文化会館大ホール
- 演題 「子どもと共にここを育む親子関係—いじめ・登校拒否等の問題状況から学ぶこと—」
- 講師 藤原勝紀(ふじわら かつのり)さん
(九州大学健康科学センター教授)
- 入場料 無料
- 主催 荻田町青少年育成町民会議総務部会
- ＜講師プロフィール＞
 - ・徳島県生まれ
 - ・1968年九州大学教育学部卒業
 - ・1973年同大学院教育心理学科博士課程終了
 - ・1974年九州大学教養部講師、助教授を経て平成元年より教授
 - ・1994年より現健康科学センター教授

みんなで広げよう オアシス運動

① ス みませんでした
② シ つれいしました
③ ア りがとございました
④ オ はようございます

編集後記
七月は青少年を非行から守る全国強調月間です。
町民会議では、この強調月間に限らず、町民のみなさんと家庭や地域で活動を続け、さらに充実を図りたいと思います。
また、様々なイベント等も準備していますので、みなさんのご理解ご協力をお願いします。

- ・主な相談
いじめ、登校拒否、しつけ、基本的な生活習慣、非行、友人関係など。
- ②相談のすすめ方について
・電話相談と面接相談の両方を行います。
- ・相談は、まず時間をかけてよく聞くことから始めます。
- ・次に、問題について相談をされる方と相談員が一緒に悩み、考え、解決のために知恵を出し合います。その場合、相談員がもっている情報を提供したりアドバイスをしたりします。
- ・必要に応じて専門の先生や専門機関を紹介しします。
- ▼氏名 榎 憲一郎(えのき けんいちろう)
一九三二年生まれ。行橋市出身。福岡第二師範学校(現福岡教育大学の前身)卒業。小学校に勤務。勤続年数三十九年。
- ▼荻田町には、南原小学校(教諭)。白川小学校山口分校(教諭)。荻田小学校(教諭)。与原小学校(校長)。合計二十年間勤務。
- ▼退職後は、京築教育事務所児童・生徒指導相談員三年。荻田

■「荻田町の教育相談員の先生を紹介してください」
こんな話が時々ありますのでこのコーナーを利用して紹介いたします。

子どものことで困ったら
いいここに
436-1152



- 相談日時
毎週月・水・木・金曜(祝祭日を除く)
午前9時～午後4時30分
※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。
- ※秘密は固く守ります。
青少年教育相談室(三原文化会館内)

町教育委員会青少年教育相談室
勤務四年目。
★秘密は固く守ります。お気軽にご相談ください。

築いていますか
暖かな家庭
第3日曜日は
家庭の日

